

つれづれ

平成29年10月31日(火)

手を抜かずに頑張る



「終わりよければすべてよし」という言葉がありますが、この考え方はいかななものかと思います。時には、このような考え方をしなければならないこともあるかもしれません。しかし、物事に取り組むときのベストの考え方ではありません。

インドの古い経典の中に「始めよし、中よし、終わりよし」と書かれたものがあり、物事に取り組む姿勢として、最初から最後まで頑張ることの大切さを説いて

ています。

その昔、豊臣秀吉の側近であった黒田官兵衛が、秀吉に次のような質問をしたというエピソードがあります。

「秀吉様はどのようにして天下を取り、太閤^{たいこう}になることができたのですか」

すると秀吉は次のように答えます。

「足輕のときは足輕の仕事を一生懸命にした。侍になってからは喜んで侍の仕事をした。関白になったときには、関白としての役割を懸命に果たした。そうしているうちに太閤になれただけで、一度も太閤になろうと思ったことはなかった」と答えたそうです。このようなやりとりが実際にあったかは定かではありませんが、このことも、一生懸命取り組むことの大切さを教えてくれる話です。

人は、ややもすれば楽な生き方に流されてしまいがちです。しかし、楽をするばかりでは良い結果は生まれません。学校生活・家庭生活を含めて、何事につけても、最初から最後まで手を抜かずに頑張るという習慣をつけてください。そうすることで、あらゆる夢や希望が叶うことになるのです。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【大阪市教育委員会 天下茶屋中学校】で検索



QR code

天下茶屋中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>